

図書館だより

都城工業
高等専門学校
図書館

No. 77

JULY 2015



「アヤソフィア」

特集

こんな本に出会った

独立行政法人 国立高等専門学校機構

都城工業高等専門学校

National Institute of Technology, Miyakonojo College

- 英語を「読む」ということ 図書館長 西村 德行…………… 1

特集 こんな本に出会った

- 読書の価値 機械工学科 瀬川 裕二…………… 2
- 一冊の本から広がる好奇心 建築学科 加藤 巨邦…………… 3

- 新入生オリエンテーション開催される…………… 4
- テーマ展示を開催しています…………… 5
- 図書委員長と副委員長になつての抱負…………… 6

委員長 徳丸 唯（4年建築学科）
副委員長 宮崎 愛美麗（4年電気情報工学科）

- 平成27年度図書委員…………… 6
- 平成27年度図書館カレンダー…………… 7
- 図書館からのお知らせ…………… 7
夏季休業期間中の長期貸出について
夏季休業期間中の開館について

- 編集後記…………… 7



●表紙「アヤソフィア」
撮影時期：2013年3月
撮影場所：イスタンブール（トルコ共和国）
撮影：図書館長（一般科目）西村 德行

アヤソフィアは、東ローマ帝国時代にキリスト教の大聖堂として建設された。15世紀よりイスラム教のモスクとして改築が繰り返され現在に至る。1935年からは博物館として使われている。

英語を「読む」ということ

図書館長 西村 徳行

4月の英語の授業の初めに、学生諸君に英語の文章を読むことについて話をするのがよくある。大抵の場合、人が何か「読む」という行為をする目的は何なのかという話に始まり、「この英語の授業では、情報を得ることを目的にした読みの練習をやっていきます。」という言葉で締める。その後、要点をまとめながら読むスキミングや特定の情報（教室で典型的なものは内容に関する質問）に注目して速読するスキミングなどの技術の説明などを交えて読む練習をする。

JABEE以後、TOEICを意識するため、このようなリーディング指導が多くなったのだが、時々寂しさを感じる時がある。時には、文学作品等を一緒に読んで、この主人公の行動の意味は何だったんだろう、この行為を主人公にさせることによって作者は何を伝えたかったんだろうなどと論じてみたい気もする。このような研究者的な読み方（ちなみにイギリスでは「Read」という単語には「～を専攻する、研究する」という意味がある）は望めないまでも、純粋に楽しむために英語を読ませることはできないかと考える。

その考えのもとに始まったのが「多読授業」である。日本でもかなり古くから取り組まれて来ているが、高専でいち早く取り入れたのは豊田高専である。本校でも7、8年前から多読用図書を購入し始めて、現在3千冊を超える蔵書数である。アルファベットだけの絵本から100ページ以上に亘るペーパーバックまでレベルはさまざまである。1年生の英語担当者が後期の45分間を利用して図書館で多読の授業に取り組んでいる。毎年アンケートを取っているが、学生諸君の受け止め方は概ね好意的なようである。

私も1年生を担当した時に一度多読指導を体験した。毎回同じようなレベルの200冊程度の本の中から自由に選んで読み始める。15分位で集中が途切れる人もいるし、40分弱で4、5冊読破する人もいる。最後に多読手帳に読んだ本の名前と語数を記入して終わるのだが、私はもう一つ作業をさせた。読んだ本の内容に関して二つ質問を作って、それを日本語で書いてもらった。純粋に楽しむという本来の多読の目的に他の

目的を入れてしまったのだが、実施後のアンケートの結果では、意外にもこの質問作りを肯定的にとらえている人が多かった。

1年生の段階で英語を読む楽しさに触れさせるといって、ある程度の成果が上がっている多読であるが、授業以外や2年次以後に続いて行かないという悩みがある。今後これを解消し、授業以外で多読図書を読む人が増え、少々長い英文も抵抗なく読める学生諸君があちこちで見受けられればと願う。第2閲覧室に入ってすぐ右側の書架で、英語で書かれた本があなたの手にとられるのを待っている。



特集 こんな本に出会った

読書の価値

機械工学科 瀬川 裕 二

本年度から機械工学科に赴任しました瀬川裕二と申します。私は生き方や考え方について書かれた、いわゆる自己啓発本を好んで読んでいます。

自己啓発本は、著者が何十年と生きてきた中で得られたことが書かれています。読むことでその考え方を知ることができれば、その人が何十年と生きた人生分の価値を自分の中に取り入れたことになり、とても得たことになると思っています。また、人の考え方を知る、理解することは物事を多角的に捉えるためには不可欠です。教員という仕事をしているからそういう本に引き寄せられる部分は大きいと思いますが、「人としての成長」を考えたとき、どんな職業の人にとっても大切な本になりうると思っています。

学生の皆さんは読書の時間を普段からどれだけ確保していますか。私は本から多くのことを学び、今の自分を創り上げてもらった部分は大きいと思っています。もちろん人との出会いも大事ですが、自分を変えてくれる、成長させてくれる本に出会うことも同じように大事なことだと思います。例えば、皆さんがゲームや携帯電話の使用に充てている時間の10分でもいいから読書に置き換えたとして、その短い時間が自分を変えてくれる本との出会いの時間になれば、とても素晴らしいことですよね。推薦図書に挙げている「君に成功を贈る」という本は、私の人生を変えた一番の本です。購入してから10年以上経った今でも時々読んでしまうほど大切な本です。

そうは言っても、私も本を読む時間が減ってしまいました。ただ、自分を高めたいという思いは学生時代から変わりません。この文章を書いたことをきっかけに、改めて本を読む時間を私も作ってみようと思います。本を読んでみようと思っている学生はぜひ今日からでも始めてみてください。大切なのは、思っていることを行動に移すことです。自分で読みたいと思った本ならどんな本でも構いません。時間の使い方を考え、読書で自分を成長させる時間を作ってほしいと思います。

推薦図書

★君に成功を贈る

中村天風（日本経営合理化協会 出版局）

鹿兒島高専時代の恩師から紹介されて読んだ本です。著者は松下幸之助、稲森和夫といった経営者にも影響を与えた方です。幸せな人生を送るための心の在り方について書かれています。テーマあたりの文章が短いので読みやすいと思います。著書の中で、若いうちは心の重要性を軽視しがちと書かれています。若い学生の皆さんだからこそ読んでほしい本です。

（専門・教養図書 159／ナカム）

★空飛ぶタイヤ

池井戸潤（実業之日本社）

皆さんもご存じの今最も旬な作家です。実は、私が以前勤めていた会社がモデルという私にとっては他人事ではない小説です。だから読んだというのが本音ですが、リコール隠しが大きなテーマで、企業コンプライアンス、工学倫理について考えさせられます。エンジニアを目指す皆さんに必見の本です。

（専門・教養図書 913.6／イケイ）



一冊の本から広がる好奇心

建築学科 加藤 巨 邦

今年の4月に着任しました建築学科の加藤巨邦と申します。私は、本を読むきっかけ、本と出会うきっかけは“何でもあり”と思っています。

そこで、一例として、私の体験談を述べさせていただきます。それは、本屋で偶然に見つけた本を読んだ際に、その本の中では主題を展開する際の、背景の一部として書かれていた内容に興味を抱き、その後は、その内容に関する図書を探して更に読み、加えて、実際にその土地に行ってみたくて旅に出かける、というまでに展開していった話です。

私が出会ったその本は、中津文彦著の“黄金流砂”という歴史推理小説の単行本です。この本は第28回江戸川乱歩賞を受賞した作品で、受賞後はサスペンスドラマとしても放送されました。

『学生時代のある時、下宿近くの本屋へ立ち寄った。店内をぶらぶらと歩いていたところ棚の一部から“黄金”、“義経”、“藤原”の三つの単語が目に入ってきた（その時は本が手招きしているように感じた）。直ぐさまその本を手に取り帯に書かれている文章を読んだ。どうやら連続殺人事件が発生、その背景には奥州藤原一族の繁栄を支えた黄金財宝の在処を示した古文書の発見とその解説が絡んでいる。更にその発見には源義経北行説の話が織り込まれているようだ。

私は、以前から義経北行説（源義経は平泉で自害せず北へ北へと向かって逃げ延びたという説です）に興味があったため、そのことに惹かれて迷わず購入した。下宿に帰り時間も気にせず一気に読み進めた。読み終えた時は読み始めた時以上に気持ちが高ぶっていた。その後何度か読み返しているうちに、北行説を解説する際に引用されている文献が読みたくなり、図書館や古本屋へ行ってそれらの本を探し出して読み始めた（その一つを推薦図書に示します）。色々と読み漁っているうちに、北行説の言い伝えが残っている場所にも行きたくなり、自分で纏めた資料と地図を片手に歴史探索の旅へと出かけていった。』

以上のように最初は神がかり的に出会った本でしたが、私は一冊のこの本から色々と枝分かれして幾つかの本を読むことになりました。この本との出会い以降、私の読書パターンはこの流れになっているような気がしています。

自分のフィーリングにあう本はどこで出会うか分かりません。そのため、例えば、図書館で色々な分野の本を斜め読みでも良いので読んでみて（眺めてみて）、その際に興味がある事項が一つでもあれば、その事柄に関する図書を探してじっくり読んでみるのもよいのではないのでしょうか？また、ネット上の文章や雑誌の記事等で少しでも気になったことがあれば、その話の元になっている図書を探して自ら読んでみるのもよいのではないのでしょうか？

本と出会うきっかけ（本を読むきっかけ）を作るのも自らが行動することだと思います。色々なことに興味を持って色々と自ら動いてみて下さい。よい出会いがあることを信じています。

推薦図書

★成吉思汗の秘密 新装版

高木彬光（光文社文庫）

歴史推理小説です。初版は1958年10月に光文社から刊行されていますが、新装版が2005年4月に文庫本として出版されていますので、今も根強い人気があるものと思われます。源義経にまつわる日本の各地（鎌倉、平泉、宮古、八戸等）から中国大陸のモンゴルにまで、息つく暇もなく話は展開していきます。

（文庫・新書 913.6/タカキ）

★新版 落語手帖

矢野誠一（講談社）

日本の伝統芸能の一つである落語、その中でも古典落語は、その時代の背景や言葉の使い方などを理解した上で噺を聴いた方が、より楽しめると思われます。この図書には古典落語が274席収録されており、それら全てにおいて概要と能書きが記述されています。少し息抜きの意味も込めて、このような本も如何でしょうか？読んでから聴く、聴いてから読む等、楽しみ方はいろいろあると思います。また、この本をきっかけに（あるいは落語をきっかけに）、別の世界にも興味を広げていって頂ければ幸いです。

（専門・教養図書 779.13/ヤノ）

新入生オリエンテーション開催される

図書館では6月から7月にかけて、1年担任の先生のご協力を得て、特活の時間を使い「新入生のための図書館利用オリエンテーション」が開催されました。

初めに西村図書館長から、学生生活における読書の意義及び図書館利用の重要性について講話がありました。次に、図書係から「開館時間」、「貸出・返却の手順」など、図書館の利用方法についての説明を行いました。

続いて「図書館ツアー」と称して、図書館内の各配架場所(コーナー)を実際に回りながら説明しました。オリエンテーションの間、学生は真剣な表情で説明を聞いていました。

最後は、実際に読みたい本を選んでもらい、体験貸出を実施して、オリエンテーションを終えました。



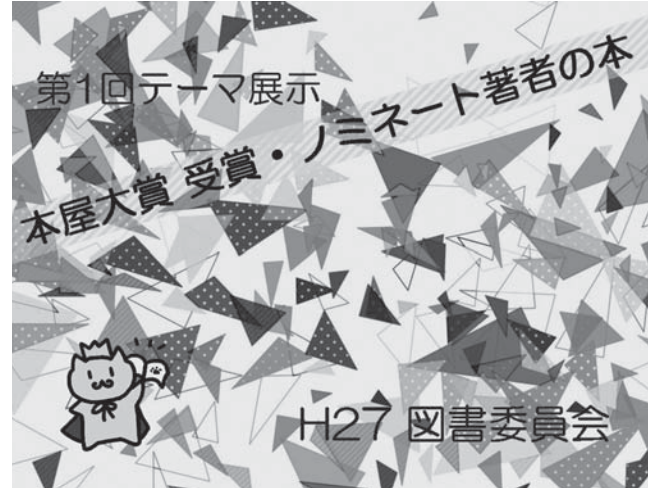
テーマ展示を開催しています

学生図書委員会は、毎年、図書館でテーマ展示を開催しています。平成27年度第1回テーマは「本屋大賞受賞・ノミネート著者の本」です。

本屋大賞とは、全国の書店員が、みなさんに読んで欲しい本を投票で選ぶイベントです。今年も10作品がノミネートされ、『鹿の王』（上橋菜穂子著）が受賞しました。

ノミネートされた10名の著作を、学生図書員が紹介レビューを作成し、図書館第一閲覧室に展示しています。どれも面白い作品ばかりです。ぜひ図書館へ足を運び、読んでみてください!!

また、図書委員が作成したレビューは、冊子にして各クラスにも配布しています。こちらも、ぜひご覧ください!!



書名	著者名
『氷菓』	米澤 穂信
『世界から猫が消えたなら』	川村 元気
『ハケナニメ』	辻村 深月
『冷たい校舎の時は止まる』	辻村 深月
『ゴールデンスランバー』	伊坂幸太郎
『パーク・ライフ』	吉田 修一
『さくら』	西 加奈子
『魔王』	伊坂幸太郎
『砂漠』	伊坂幸太郎
『植物図鑑』	有川 浩
『東京湾景』	吉田 修一
『図書館戦争』	有川 浩



図書委員長と副委員長になっての抱負

図書委員長 徳丸 唯

今年度委員長として活動することになりました4年建築の徳丸です。今回初めて図書委員になって、まだわからないことも多く、副委員長や担当の先生に迷惑をかけてばかりですが、一年間頑張っていきたいです。なるべくたくさんの学生に本を読んでもらいたいです。特に、高専という特殊な学校の図書館というこ

とで、他の公共図書館にはない専門書も多く揃っているので、より多くの人に活用してもらえよう、努力していきたいです。各学科とも、授業やレポートに使える本が多数あるので、ブックハンティングや深山書評などを通して、利用率が上がればいいなと思っています。一年間頑張ります。

図書副委員長 宮崎 愛美麗

今年度副委員長を務めさせていただくことになりました。図書委員は、クラスと図書館を繋ぐ役割であると思います。ブックハンティングやテーマ展示、深山書評などを通してより多くの方が図書館を利用してもらえるように、今までの委員長達が作り上げてきたものを引き継ぎつつ、より良いものにできればと思いま

す。3年間図書委員をしてきた経験を活かして委員長をサポートしながら、より活動に尽力していきたいです。よろしく願いいたします。



平成27年度学生図書委員

図書委員長：徳丸 唯（4学年・建築学科）
 図書副委員長：宮崎 愛美麗（4学年・電気情報工学科）



学科 学年	機械工学科	電気情報工学科	物質工学科	建築学科
1学年	若松 雅	原口 聡	山田 涼夏	愛甲 桐子
2学年	福島 伊織	川越 聖哉	後藤 光貴	原子 和子
3学年	門松 憲吾	中村 大牙	仲澤 侑花	佐藤 豪
4学年	岩田 真雄	宮崎愛美麗	川野 正博	徳丸 唯
5学年	郡 勇人	仲澤 知剛	花田 隆文	薬師寺孝輔

平成27年度図書館カレンダー

○は休館日です

平成27年 4月

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑰	20	21	22	23	24	25
⑳	27	28	㉑	30		

平成27年 5月

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
③	④	⑤	⑥	7	8	9
10	11	12	13	14	⑮	⑯
⑰	18	19	20	21	22	23
㉒	㉓	26	27	28	29	30

平成27年 6月

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	⑤	⑥
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
⑳	22	23	24	25	26	27
㉘	29	30				

平成27年 7月

日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4
⑤	6	7	8	9	10	11
⑫	13	14	15	16	17	18
⑰	⑳	21	22	23	24	25
㉒	27	㉘	29	30	31	

平成27年 8月予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
②	③	4	5	6	7	8
⑨	10	11	12	⑬	⑭	⑮
⑰	17	18	19	20	21	22
㉓	㉔	㉕	㉖	㉗	㉘	㉙

平成27年 9月予定

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
⑳	㉑	㉒	㉓	24	25	26
㉗	28	29	30			

平成27年 10月予定

日	月	火	水	木	金	土
				①	②	3
④	5	6	7	8	9	10
⑪	⑫	13	14	15	16	17
⑱	19	20	21	22	23	24
㉕	26	27	28	29	30	31

平成27年 11月予定

日	月	火	水	木	金	土
①	②	③	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
㉒	㉓	24	25	26	27	28
29	30					

平成27年 12月予定

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	㉓	24	25	㉖
㉗	㉘	㉙	㉚	㉛		

平成28年 1月予定

日	月	火	水	木	金	土
					①	②
③	④	5	6	7	8	9
⑩	⑪	12	13	14	⑮	⑯
⑰	18	19	20	21	22	23
㉔	㉕	26	27	28	29	30

平成28年 2月予定

日	月	火	水	木	金	土
	①	2	3	4	5	6
7	8	9	10	⑪	12	13
14	15	16	17	18	⑱	⑳
㉑	22	23	24	25	26	㉗
㉘	29					

平成28年 3月予定

日	月	火	水	木	金	土
		①	2	3	4	⑤
⑥	7	8	9	10	11	⑫
⑬	14	15	16	17	18	⑱
⑳	㉑	22	23	24	25	㉖
㉗	28	29	30	31		

図書館からのお知らせ

夏季休業期間中の長期貸出について

通常10日間の貸出期間を、夏季休業期間中は特別に長期貸出としますので、ご利用ください。

帯出冊数：7冊以内

貸出開始：7月7日（火）

返却日：8月31日（月）

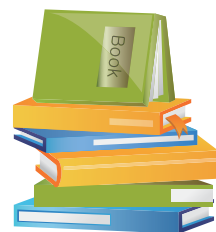
夏季休業期間中の開館について

夏季休業期間中の開館時間及び休館日は次のとおりです。

開館時間：平日 9時～20時（8月4日～28日は17時まで）

土曜日 9時～17時

休館日：毎週日曜日、7月20日、28日、8月3日、13日、14日、15日



編/集/後/記

第77号の図書館だよりには、4月に本校に着任されました2人の先生方から寄稿していただきました。それぞれに読書の思いでや楽しみ方等を語っていただきました。最後にお薦めの本を推薦いただきました。皆さんも今回の寄稿文に刺激を受け、図書館の利用が増えることを期待しております。

また、今回の図書館だよりには、本校の図書委員が作成した「平成27年度第1回テーマ展示：本屋大賞・ノミネート著書の本」を紹介していますので、是非参考の上、本を借りて読んでください。

新入生を対象に「図書館オリエンテーション」を実施しました。図書館をおおいに活用して、今後の学習に役立ててください。

発行に際しご多忙の中、ご寄稿いただきました先生方に厚くお礼申し上げます。